

東日本大震災から10年

平成23年3月11日14時46分三陸沖で発生したマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震により引き起こされた大災害。最大震度7の強い揺れと国内観測史上最大の津波を伴い、東北・関東地方を中心とする広い範囲に甚大な被害をもたらしました。

図総務課地域安全対策係 ☎028(677)6029

災害への備え、あなたはできていますか？

自然災害はいつ起こるかわかりません。被害を防ぐためにできることや、受ける被害を最小限に抑えるためにできることを日頃から考え、災害に備えましょう。できた項目の□にチェックを入れてみましょう。

災害が起きる前に備蓄品の準備・点検を

災害が発生すると電気・ガス・水道などのライフラインや流通機能がストップする恐れがあります。いざというときにすぐに対応できるよう、日頃から準備や点検をしておきましょう。

非常持出品

- 貴重品
- 連絡先メモ
- 救急用品
- ヘッドライト
- 常備薬
- ホイッスル
- ウェットティッシュ
- 軍手・保護グローブ
- アイマスク・耳栓
- レインコート
- 携帯ラジオ
- 非常食
- 消毒液
- 携帯電話の充電器
- 歯磨きシート
- ラップ
- マスク

避難所で活躍

非常備蓄品

- 簡易(携帯)トイレ 目安:〇人×5回×3日=〇回分
- カセットコンロ 目安(ガスボンベ):〇人×6本×1週間=〇本
- 飲料水 目安:〇人×3リットル×3日=〇リットル
- 非常用食料 目安:〇人×3食×3日=〇食分
- 生活用水
- 蓄電池・発電機などの発電設備

自宅避難で活躍

常時携行品

- 笛・ホイッスル
- ライト、ラジオ
- 連絡メモ
- 充電器
- 食料

外出先で活用

食品の賞味期限切れや備品の不備がないよう、定期的に点検しましょう。また、上のリストは一例です。これを参考に、家族構成に合わせた準備をしましょう。

例1 乳幼児がいる

ミルク、ほ乳瓶、離乳食、スプーン、おむつ、ベビー毛布など

例2 妊婦がいる

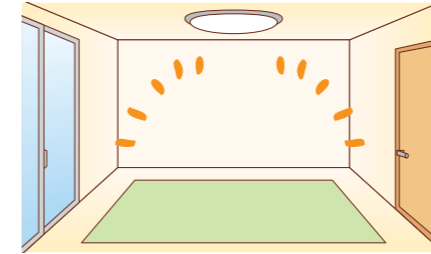
脱脂綿、新生児用品、サラシ、母子健康手帳、石けんなど

例3 要介護者がいる

着替え、おむつ、常備薬、障がい者手帳など

家でも安全対策を

安全なスペースを確保する



出入り口や通路にものを置かない



高い場所に落ちやすいものは置かない



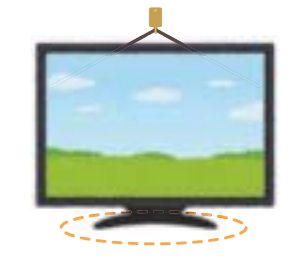
重い食器は下に、軽い食器は上のほうに置く



L字金具や支え棒などでしっかり固定



テレビはできるだけ低い位置に固定



家族で連絡先などの確認を

家族で「連絡先」「避難場所」「連絡方法」などを確認しておきましょう。「かかりつけ医療機関の電話番号」や「親戚・知人の連絡先」も控えておきましょう。

【災害伝言ダイヤル「171」】

伝言を残したり聞いたりすることができるサービスです。「171」にダイヤルし、案内に従って録音や再生をします。伝言は1回30秒まで、保存期間は48時間です。

災害伝言ダイヤル「171」

伝言を録音する場合

伝言を再生する場合

1 7 1 にダイヤル

1 を押す 2 を押す

被災地の人: 自宅の電話番号
被災地以外の人: 被災地以外の人の電話番号

1 # を押す

「録音する」(30秒) 「再生」が始まる

9 # 終了

あの日、あの時、あの光景忘れないで

町でも1人の尊い人命が失われ、人的、物的ともに非常に大きな被害が発生しました。

東日本大震災被害状況まとめ(町内)

- 人的被害 死亡1人、負傷28人
- 建物被害 居宅: 全壊16棟、大規模半壊4棟、半壊127棟、一部損壊2,280棟
- 崩壊箇所 急傾斜地崩壊1カ所、住宅団地擁壁崩壊3カ所
- 電気水道被害 停電(3/12 12:46通電復旧) 断水(3/12 20:00全域復旧)
- 避難所 避難所4カ所を開設し、最大710人が避難
- 避難情報 住宅団地擁壁崩壊により22世帯に避難勧告急傾斜地亀裂発生により85世帯に避難準備情報

被害を最小限に抑えるためには、皆さんの力が必要です。
「自助」「共助」の精神を持って、できることから取り組みましょう。